

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成28年11月17日 (2016.11.17)

【公表番号】特表2015-532920(P2015-532920A)

【公表日】平成27年11月16日 (2015.11.16)

【年通号数】公開・登録公報2015-071

【出願番号】特願2015-532473(P2015-532473)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/454 (2006.01)

A 6 1 K 31/20 (2006.01)

A 6 1 K 31/201 (2006.01)

A 6 1 K 31/202 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/565 (2006.01)

A 6 1 K 31/58 (2006.01)

A 6 1 K 31/568 (2006.01)

A 6 1 K 31/203 (2006.01)

A 6 1 P 5/28 (2006.01)

A 6 1 P 5/32 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 13/08 (2006.01)

A 6 1 P 17/10 (2006.01)

A 6 1 P 17/08 (2006.01)

A 6 1 P 17/14 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 31/454

A 6 1 K 31/20

A 6 1 K 31/201

A 6 1 K 31/202

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 31/565

A 6 1 K 31/58

A 6 1 K 31/568

A 6 1 K 31/203

A 6 1 P 5/28

A 6 1 P 5/32

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 13/08

A 6 1 P 17/10

A 6 1 P 17/08

A 6 1 P 17/14

【手続補正書】

【提出日】平成28年9月26日 (2016.9.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

治療有効量のベンゾ（イソ）オキサゾールピペリジン、および治療有効量のオメガ - 7 脂肪酸を含む医薬組成物。

【請求項 2】

前記ベンゾ（イソ）オキサゾールピペリジンが、任意に置換されたイロペリドン、任意に置換されたオカペリドン、任意に置換されたバリペリドン、任意に置換されたリスペリドン、又はこれらのいずれかの組み合わせを含む、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 3】

前記ベンゾ（イソ）オキサゾールピペリジンが、イロペリドン、オカペリドン、バリペリドン、リスペリドン、又はこれらのいずれかの組み合わせを含む、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 4】

前記ベンゾ（イソ）オキサゾールピペリジンがリスペリドンである、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 5】

前記オメガ - 7 脂肪酸が、5 - ドデセン酸（12 : 1）、7 - テトラデセン酸、9 - ヘキサデセン酸、11 - デセン酸、9 Z, 11 E 共役リノール酸、13 - エイコセン酸、15 - ドコセン酸、17 - テトラコセン酸、又はこれらのいずれかの組み合わせを含む、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物。

【請求項 6】

前記オメガ - 7 脂肪酸が 9 Z, 11 E 共役リノール酸である、請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物。

【請求項 7】

前記ベンゾ（イソ）オキサゾールピペリジンの治療有効量が 0.1 mg / 日から 20 mg / 日である、請求項 1 ~ 6 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物。

【請求項 8】

前記ベンゾ（イソ）オキサゾールピペリジンの治療有効量が 0.01 mg / 日から 0.5 mg / 日である、請求項 1 ~ 6 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物。

【請求項 9】

前記オメガ - 7 脂肪酸の治療有効量が 0.1 mg / 日から 20 mg / 日である、請求項 1 ~ 8 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物。

【請求項 10】

前記オメガ - 7 脂肪酸の治療有効量が 0.01 mg / 日から 0.5 mg / 日である、請求項 1 ~ 8 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物。

【請求項 11】

ホルモン依存性増殖性障害又はホルモン依存性非増殖性障害の治療のためであって、治療有効量のベンゾ（イソ）オキサゾールピペリジンと治療有効量のオメガ - 7 脂肪酸とが相乗効果を発揮する、請求項 1 ~ 10 に定義される医薬組成物の使用。

【請求項 12】

前記ホルモン依存性増殖性障害が、がん、前立腺肥大症（BPH）、又は多嚢胞性卵巣症候群である、請求項 11 に記載の使用。

【請求項 13】

前記がんが、前立腺がん、肺がん、乳がん、卵巣がん、又は睾丸がんである、請求項 12 に記載の使用。

【請求項 14】

前記がんがホルモン抵抗性がんである、請求項 12 に記載の使用。

【請求項 15】

前記ホルモン依存性非増殖性障害が、尋常性座瘡、脂漏症、女性多毛症、又は男性ホルモン性脱毛症である、請求項 11 に記載の使用。